

矢田北小学校



所在地 〒546-0021 東住吉区照ヶ丘矢田2-1-55

電話 06-6705-1601

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741702>

校長名 荒木 浩司



標準服 無 集団登校 無



学校概要

学校教育目標・めざす子ども像

本校は1975年、矢田東小学校より分離開校しました。翌1976年には校歌・校章が制定され、今年で創立43年を迎えました。

①学校教育目標

「互いの人権を尊重し、豊かな心を持ち、共に生きようとする子どもを育てる。」

②めざす子ども像

- 【や】 やさしく思いやりのある子
- 【た】 楽しく学習する子
- 【き】 協力し合う、仲のよい子
- 【た】 たくましい子



運営に関する計画

【子どもが安心して成長できる安全な社会】

- 人権教育の年間指導計画に基づいて、学校行事の中で人権教育活動を積極的に取り入れる。人権学習週間を設定し、全校挙げて人権教育に取り組む。
- 毎月生活目標を設定し、各学期に強調週を設け、全教職員で学校のきまりを指導する。
- 研究主題を「子どもが道徳的価値を理解する指導法の工夫」と設定し、研究の柱を共通理解した上で、全教職員が道徳の研究授業を行う。
- 様々な体験活動の場で、児童一人ひとりが活躍できる場を設定する。
- 外国人教育を通して、多文化共生・異文化理解の取組を進める。
- 各学年が文化的・体験的な学習を実施する。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 国語科・算数科の学習指導の成果を上げるため、学力向上の時間を週2回設定し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
- 家庭学習に取り組む児童を増やす工夫を行う。
- 読書に取り組む児童を増やす工夫を行う。
- ICTを活用した教育やプログラミング教育に取り組む児童の思考力・表現力を育てる。
- 体育科の授業や体育的行事を通して、運動する喜びを実感させる。
- 児童へ「食」の大切さについて指導し、正しい知識を持たせ、感謝の気持ちを持って食事できるようにする。
- 手洗い・うがいの習慣を身につけさせる。

児童数・学級数

平成30年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	23	32	29	18	24	30	156
学級数	1	1	1	1	1	1	6
特別支援学級							3

※全国・大阪市の平均についてはP10参照

体力・運動調査結果

本校は調査参加学年が単学級であるため、数値の公表は控えております。

体力・運動能力の結果は、女子では「立ち幅とび」、男子では「長座体前屈」と「シャトルラン」、「ソフトボール投げ」が、大阪市・全国の平均を上回った。また、男女ともに、大阪市・全国の体力合計点を上回った。

男女ともにふだんの体育の授業では、友だちと助け合ったり役割を果たしたりする活動やチームの中で話し合う活動を行っており、体育が果たす役割や大切さを理解している。

学力調査結果

本校は調査参加学年が単学級であるため、数値の公表は控えております。

平均正答率は、算数A以外、大阪市平均を下回る結果となった。また、全国平均と比べると、全てにおいて下回る結果となった。特に、平均無解答率が高く、国語B・算数Bともに2桁を超えている。これは、全国や大阪市と比べても、ポイントが高く、自分の考えを文章で伝えることが苦手な児童が多いことが明らかになった。今後も基礎基本の学力の定着を図る取り組みを学校全体で行い、児童の学力向上につながる活動をより多く実施していく必要がある。

【国語科】 A・B問題ともに、大阪市の平均を下回り、特にA問題では「話すこと・聞くこと」、B問題では「読むこと」の領域のポイント差が大きかった。つまり、授業や係活動などで話し合いをする場を設け、相手が話す内容を理解し、考えを伝え合う活動を多く取り入れるだけでなく、問題を読んで文章を理解する力をつける必要があると考える。しかし、A問題の「読むこと」領域においては、大阪市平均との差は小さかった。つまり、目的に応じて中心となる語や文をとらえ、必要な情報を見つけて読むことができていた児童が多いことがわかった。このことから、習熟度別少人数授業での調べ学習や朝学習等の取り組みが、児童の学力向上につながっていると考えられる。

【算数】 B問題のみ、平均正答率は大阪市平均を下回る結果となったが、平均無解答率は、A・B問題ともに大阪市を上回る結果となった。しかし、A問題では、「数と計算」「数量関係」の領域が大阪市平均を上回るなど、習熟度別少人数指導によって、児童の学力を向上させることができていると考える。ところが、B問題の「図形」領域における差は大きく、自分の考えや言葉を式に表すことが苦手な児童が多いことがわかる。このことから、今後授業の中で自分の考えを、児童一人ひとりが発表する機会を多く設けていく必要があると考える。

※全国・大阪市の平均についてはP10参照

矢田北タイム

毎週火曜日・水曜日・金曜日の朝8:30～8:40までの10分間と、水曜日の13:30～13:45までの15分間を、「矢田北タイム」に設定し、子どもたちの学力向上に向けた取り組みを進めています。火曜日は「漢字タイム」です。矢田北漢字検定と題して、1年生の読み・書きから6年生まで順に進めていきます。水曜日の朝と13:30～13:45の時間は外国語活動を行う「ハッピータイム」と設定し、英語に慣れ親しんでいます。金曜日は「計算タイム」で、100マス計算を3分間でできるところまで挑戦します。



社会性を育む人権教育

人権を尊重し豊かな心を育むことによって、認め合い支え合うことのできる「なかまづくり」をめざしています。そのために、各学年で人権学習の取り組みを行っており、隔年で人権学習発表会を行っています。また、障がいのある方との理解教育や給食交流、年度末の国際クラブの発表会においても積極的に取り組みを進めています。



運動能力向上・体力増進に向けて

本校には、大運動場と中庭があり、中庭全面には人工芝生が敷かれています。子どもたちは大喜びで駆け回ったり、寝転がったりと、土の運動場では味わえない感触を存分に楽しんで体を動かしています。また、子どもたちの運動能力向上・体力増進に向け、なわとび大会、スポーツ大会やマラソン大会などの体育的行事を毎年実施しています。



児童会活動

全校の子どもたちを縦割りですなぐ「なかよし班活動」に力を入れて取り組んでいます。1年生から6年生までの全校児童を16班に分け、それぞれの班が絆を深め合って活動しています。毎週木曜日には「児童集会」があり、委員会の児童が考えた活動に全員が参加します。また、土曜授業で「矢田北まつり」を行い、2年生以上の各学級のお店や地域・PTAのお店を班で巡り、学校公開の場としています。



家庭・地域との連携

「矢田北まつり」や「ふれあい夏祭り」では、地域・PTAの方々がお店を出してくださっています。さらに、地域の方をゲストティーチャーにお招きし、生活科の「昔遊び」の体験学習を行っています。また、本校校区教育協議会「はぐくみネット」では、子どもの登下校を見守る「矢田北地域安全見守り隊」の活動や、地域のお年寄りの方と交流する「敬老会」などを行っています。



読書活動の推進

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、本校では国語の基礎的・基本的な学力の向上に努めています。その取り組みの柱の一つが「読書活動の推進」です。毎週火曜日、図書館補助員の方に来ていただき、図書館の整備や、子どもたちへの読み聞かせなどをいただいています。また、委員会の児童を中心に、図書館開放を実施したり、図書館だよりを発行したりしています。その他にも、地域

のボランティアの方による読み聞かせを定期的に行ったりすることで、子どもたちに読書の習慣が少しずつ身に付いてきました。

